

クラブ管理運営委員会
委員長 副会長 河邊幸夫

S. A. A 担務

リーダー 坂口紘平
サブリーダー 石井達、森本勝好、伊藤久博

担当 尾関武男、石井謙次、高須康有、岩上義明、小原健、佐藤仁、
永 滋康、村山公士、藤井隆宏、長谷川毅、出川敬司、岩城賢珠、
金澤明彦、川島栄吾、田路和也、望月明美、関野雄志

1. 基本方針

例会の円滑な運営を図り、例会を監督する。

※コロナ禍の影響を受けて

現在は通常例会と zoom によるハイブリッド例会を実施している。

その為、コロナ禍の特別措置として、通常 SAA にて定めている担当表を今期は定めていないが、SAA・親睦を問わず、参加できる会員により臨機応変に例会運営にご協力を頂きながら実施して頂いている次第。

今後のコロナの状況を鑑みながら、適宜 SAA 担当表の作成及び担当者へのメール連絡を実施していく。

(1) 毎回の例会に次の担当者を置く。

- ① 例会運営責任者 (リーダー・サブリーダー)
- ② 受付・ニコニコボックス担当 (1名)
- ③ 来客案内・会場整備 担当 (3名)

(2) 基準食事数はコロナにより zoom での例会参加者も多数いらっしゃる為、前年度の 38 食から 30 食へ変更。今後の出席率を加味しながら適宜対応していく。

2. 活動基本計画

(1) リーダー担当

① 座席表の作成

- ・偏りがないように工夫する。
- ・2か月に一度程度の席替えを実施する。

② SAA 担当表の作成・委員への連絡 ※現在、担当表作成・確認メールは未実施。

- ・四半期ごとに作成し、四半期初の一ヶ月前には SAA 委員・事務局に配布する。
- ・毎週半ばに、その週の例会担当者に担当確認メールを送る。

③ 食事数について

- ・会長、幹事の2名については昨年度までサンドイッチ等の軽食を用意していたが、今年度は以前のように通常の食事へと変更。
- ・毎週水曜日の午前中までに全会員へ来客予定を確認し、幹事、プログラム委員と共有。食事数を機動的に増やす。
- ・Google スプレッドシート (オンライン出欠票) と、受付に欠席予定表を置き、申告してもらうことで食事数を調整する。

(2) 例会のスムーズな進行に向けて

- ・例会開始5分前のアナウンスで着席を促し、例会のスムーズな進行に務める。
- ・受付付近でお客様が戸惑うことがない様、来客案内・会場整備を3名配置する。
- ・メイキャップ等、ビジターの方は3番または4番テーブルにご案内する。
- ・食事が足りない場合は、お客様や SAA 以外のメンバーを優先し、SAA メンバーはホテルカフェにて食事をとるようにする。
- ・楽譜の用意と配置、片付けを行う。

(3) その他

- ・来客者が手持ち無沙汰にならないようメンバーを中心に積極的な声掛けや名刺交換を行う。
- ・時間にゆとりがある時は、メイキャップや来客の方に1分程度話をしてもらう。

クラブ管理運営委員会

委員長 河邊 幸夫

ソングリーダー 担当

リーダー 大谷 啓子

サブリーダー 入沢 頼二・鶴飼 光美

メンバー 岩上 義明・長谷川 毅・奥野 敦・出川 敬司・張 宇

西澤 民夫・森本 勝好・福田 栄二・坂口 航平

-
- ソングリーダーの役目 不足しがちな会員同志のコミュニケーションを補う
メンバーとして全員唱和をすることにより、例会の活性を
図る。
- 指揮 メンバーが交代で務める
Zoom の出席の場合は、ピアノに先行してもらい指揮をする。
- 歌集の作成 パワーポイントを使い、事務局に依頼し、新規に作成
Zoom との共有資料として、使用する。
ロータリーソングについては、楽譜入り、今月の歌は歌詞のみを記載
ペーパーレスの実践と衛生面での、メンバーの健康に留意する
今後必要があれば、コピー対応の可能性も考慮する。
- 毎月初回例会 国家君が代斉唱
- 今月の歌 前年度協議の上、決定した歌が年度途中で、中止になっているので、今年度に
継続をして、12か月の歌としたい

7月	It's a small world	1月	スキー
8月	少年時代	2月	冬景色
9月	小さい秋見つけた	3月	朧月夜
10月	遠い山に日は落ちて	4月	花
11月	たき火	5月	ふじの山
12月	赤鼻のトナカイ	6月	糸

クラブ管理運営委員会

委員長 河邊幸夫

プログラム 担務

リーダー 穂苺 裕久

サブリーダー 高須 康有 大谷 啓子

担 当 石井 謙次 石井 達 長谷川 毅 金山 驍

-
1. ロータリークラブの卓話は、クラブ活動の根幹を支えるとの認識に基づき、会員各位の関心を呼び、知識教養を深めるような卓話を用意するように努めることが基本である。
 2. 具体的には、例会が意義深いものになるよう、年度の RI のテーマやクラブテーマを勘案しつつ、仕事や人生にとってヒントになるような卓話を用意するように努める。ロータリー月間、クラブ特別行事の折には、特に相応しいテーマを選定するように配慮する。
 3. 新会員のイニシエーションスピーチについては、出来るだけ早めに（入会后 6 か月以内が目途）、その機会を用意し、クラブに早く親しんでいただける環境づくりに貢献する。
 4. その一方で、コロナ禍の影響を受けて、予定通りの卓話者の準備に支障が生じているのが実情である。この点、会員各位にもご理解いただき、既会員によるセカンド・イニシエーションスピーチなどを織り込むことをお許しいただきたい。この場合には、職業奉仕など他の委員会活動とのコラボレーションも考慮する。
 5. また、ZOOM を利用した遠隔地（例えば海外）からの卓話者の参加も十分に考えられ、こうした新しい企画にも挑戦したい。
 6. 何分、経験のない事態に直面しており、プログラム委員会メンバーはもとより、出来るだけ多くの会員の皆様より、卓話者をご紹介いただくよう、例年以上に心がけていただきたい。
 7. なお、予算面では、卓話者への謝礼は一律 3 万円として組んでいる。

以上